

平成27年度第2回運営委員会 議事概要

- ・開催日時 平成27年9月3日(木) 14時～16時
- ・出席者 運営委員：13名出席(欠席委員：2名)
 ウィズセンター：所長、次長、職員
 男女共同参画青少年課：課長

議 事	概 要
1 開会 2 議題 (1)平成27年事業の実施状況について (2)ウィズセンターの利用状況について [質疑等] 委員 ウィズセンター 委員 ウィズセンター 委員 ウィズセンター 委員	ウィズセンター説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンターの事業の中に「NPO法人輝くママ支援ネットワークぱらママ」へ委託しているものがあるが、当該団体の概要を教えてください。 ・この法人は、子育て中の女性などが、家事・育児と仕事を両立させながら働いていけるような社会の実現を目指して様々な活動を行っている団体である。 ・この法人へ委託した理由を教えてください。 ・公募型のプロポーザル方式により提案をいただき審査のうえ決定した。事業の対象者のニーズを詳細に把握しており、提案自体も大変よいものであった。また、この法人は過去に県や岡山市において受託の実績もある。 ・センターではリーダー養成講座など多くの事業を実施しているが、その効果はどうか。 ・例を挙げると、地域リーダー養成である男女共同参画ゼミナールでは、26年度の修了生は27人、なお今年度は、あと1回残っているため見込みではあるが、受講生35人中22人が修了する予定である。修了生に対しては、修了から約2年後にアンケート調査を実施しており、各市町村の審議会委員などに選任され活躍されている方もいる。 ・それから、キャリアアップ事業では、受講生の就職率をみると、平成25年度は52.8%であったが、26年度は57.9%と5%程度上昇している。この事業でもアンケート調査を実施しており、その意見等を踏まえながら翌年度の事業を企画している。 ・キャリアアップ事業で就職された方の労働実態、例えばパートか正社員か、それから仕事内容などは調査していないのか。

議 事	概 要
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・職種別と就業形態別に調査を行っており、職種別にみると圧倒的に事務職が多く全体の約半分以上で、あとは販売・営業職の方もおられる。就業形態で見ると、パートの方が大半で、正規職員、派遣職員の方も数名おられる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミナール事業には市町村の担当職員も受講されていると思うが、今年度の受講状況はどうなっているのか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミナール事業について、全講座の受講を申し込まれた方は35名いるが、その内市町村職員は24名である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・DVの電話相談について、相談件数が前年同期に比べ減少しているが、その一因として相談員の対応が考えられないのか。本来相談を受ける場合、相手に寄り添ってその言葉に耳を傾け、相手の思いをしっかりと受け止めて、相手が答えを出せるようサポートすることがあるべき姿だと思うが、公の相談機関で早々に離婚を勧められ、しんどかったと相談を受けた。相談員も研修等受けられ努力されているとは思いますが、その辺りを改めて意識してもらいたい。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・DVの相談件数について、資料は7月末までの集計であり前年度に比べ減少しているが、8月単月では前年より増えている。月別には多少増減があるが、傾向としては例年に比べそれ程変わってはいない。 ・センターの相談員は、研修やスーパービジョンなどで研鑽を積んでいるところではあるが、お話しのような事例が起こらないよう、センター内でも徹底してまいりたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミナール事業について、この講座には市町村職員や民間の方など受講されているが、各々が講座に求めているものが少し違っているのではないかと。少し内容を見直してもよいのではないかと。併せて、今年度の日程は過密なものとなっていたのでその点も配慮願いたい。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内でも来年度に向け検討中であるが、ご指摘のあった講座の対象者の取扱いについても検討課題となっている。開催日程も含め、本日委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、検討してまいりたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの登録団体について、センターを多くの人に利用してもらうためにも、登録数を増やしていく取り組みが必要ではないかと。今一度団体登録するとこれだけの特典があることをPRすべきではないかと。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・登録団体については、登録のメリットをアピールするなどして、多くの方にセンターを利用いただけるよう工夫してまいりたい。

議 事	概 要
<p>(3)「第4次おかやまウィズプラン(仮称)」の策定について</p> <p>委員</p> <p>男女共同参画 青少年課</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>男女共同参画 青少年課</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>男女共同参画 青少年課</p> <p>委員</p> <p>男女共同参画 青少年課</p> <p>委員</p> <p>男女共同参画 青少年課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国の第4次基本計画が策定中であり、現在公聴会が開催されているが、県の計画の策定に当たって、国の計画も参考にしながら先進的な計画を策定してもらいたい。 ・国の動向も踏まえ、運営委員の方をはじめ県民の皆様のご意見を十分にお聞きしながら、県民に分かりやすく、県民みんなで進めていけるような計画を策定してまいりたい。 ・第4次ウィズプランには、岡山ならではの特色を出していただきたい。 ・子育てに伴う休暇等を取得する場合、有給休暇で対応しているケースが多いと聞くが実際のところどうか。 ・子育てに伴う休暇等についてだが、現在有給休暇すら十分取得できていない状況であることから、まず育児等のために有給休暇も含め休暇を取得することをしっかりアピールしていきたい。 ・子育てに伴う休暇として、小学校就学前までの子どもに対しての看護休暇の付与が法律により義務付けられている。企業によっては対象年齢を引き上げたり、参観日に利用できるなど法定を超える運用をしているところもある。 ・施策の方向に「男性の働き方に対する意識改革」とあるが具体的にはどのようなものか。 ・男性の育児等への参画が進まない理由として、男性中心の長時間労働を前提とした働き方がある。今後「ワーク・ライフ・バランス」が重要なキーワードになってくると思うが、とにかく男性の働き方の意識を変えて子育てや家事に参画していただかなければならない。 ・数値目標も設定すると思うが、絵空事の目標ではなく、適正な目標を明示してもらいたい。 ・これまでの成果として、女性の雇用割合が増加傾向であるとの説明であつが、その増加割合が以前より鈍化している。この状況を踏まえて分析をし、計画に反映してもらいたい。 ・女性の雇用については、出産を機に6割ぐらいの方が離職しているといった問題がある。今年度から、子育て中の女性を対象とした就職支援の事業を行っているところであり、こういった取り組みも踏まえ次期計画にも盛り込んでいきたい。

議 事	概 要
委員	<ul style="list-style-type: none"> 先ほどから意識改革という話があるが、今後企業を外して考えることはできないと思う。ただし、企業に関する計画を策定する場合、アンケート調査や各種統計資料をもとに企業の実態を踏まえて改善点を明らかにして、プランに盛り込んでいかなければならないと思う。
男女共同参画 青少年課	<ul style="list-style-type: none"> 先日成立した女性活躍推進法や、中小企業も含め企業の実態を十分踏まえながら、計画を考えてまいりたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 育児休業取得について、男性県職員の取得は進んでいないように思うが、自らがまず取り組んでみるのが大事ではないか。それにより、推進するに当たっての課題等も見えてくるのではないかと。
男女共同参画 青少年課	<ul style="list-style-type: none"> 今年、知事が「イクボス宣言」を行ったところであり、先ほど申し上げたとおり育児休業等に固執せず、有給休暇を含め取得を促進し、育児へ参加していけるよう取り組んでまいりたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> せっかく県民総意により策定される計画なので、表現にひと工夫するなどして、手にとって面白いというものにしてもらいたい。
(4)平成28年度事業、 運営についての意見・提案について	
委員	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業の「ママのためのおしごと体験隊！」ですが、大変すばらしい事業なので、来年度もこういった事業を是非実施してもらいたい。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> この事業は、子育て中の女性の再就職に向けての動議付けや、仕事を体験しながら実務知識を習得するといった内容で、委託先は公募して選定している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> この事業は、女性の自立といった面からも大切な事業である。生活困窮者自立支援に取り組んでいる社会福祉協議会等へも情報提供をお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ウィズカレッジ事業で、目的に「男性・若い世代に着目した講座」とあるが、今年度の開催予定を見ると対象が女性に偏っているように思える。男性が参加したいと思うような講座を是非企画してもらいたい。 ウィズプランの数値目標の「保育所入所待機児童数」について、はなから諦めているものは反映されていないので、この数値は実態を現していない。県独自で、待機児童数のカウントの方法を検討してはどうか。 岡山市では、保育園に子どもを通わせている保護者が次の子を出産して育児休業を取得すると、上の子が退園しなくてはならない「育休退園」について運用基準を見直し、生まれた子が1歳になるまで上の子が継続して通園できるようにした。この取り組みを県下に広げれば男女共同参画が一層推進するのではないかと。

議 事	概 要
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズカレッジ事業については、男性向け講座として、今年度は6月に「男女で学ぶ介護講座」、2月に「サラリーマンと家事労働について(仮)」を開催する予定である。また、ウィズ・パートナーシップ推進事業では、今年度若い男性向けに男性の働き方などに関する講演やワークショップといった事業も計画されている。
男女共同参画 青少年課	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童については、所管が保健福祉部なので詳細について把握していないので、先ほどのご意見は担当課である子ども未来課へ伝えておく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「婚活」について、県ではそのための組織を立ち上げるなど積極的に取り組んでおり、男女共同参画にも関係することなので、計画に盛り込んでもらいたい。
男女共同参画 青少年課	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活については、保健福祉部が力を入れて取り組んでいる。なお、ワーク・ライフ・バランスについて、県では関係する3部、産業労働部、保健福祉部、県民生活部が連携して取り組むよう検討しているところである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次おかやまウィズプラン案の「家庭における教育・学習」について、これには教育に負うところが大きいと思うが、学校における教育とはどのような内容なのか。
男女共同参画 青少年課	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における男女平等に関する教育については、現在は男子生徒が家庭科を学習するなど、以前とは違う形で男女の区別なく授業を受けている。また、人権の授業の選択肢の一つにDVを加えるなど、学校現場でも男女共同参画に関する教育が広がりを見せてきている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次ウィズプランでも、素晴らしい目標のもと各種事業が推進されているにもかかわらず、広く県民に行き渡っていないのが残念である。次期ウィズプランについても、県民に丁寧に知らせていく必要があるのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・別の会議で、県の審議会等委員の女性比率が伸びていない理由として、団体のトップは男性が多いため改善しにくいとの回答だったが、トップに出てもらわなくても、できるだけ女性に出てもらえれば改善するのではないかと。
男女共同参画 青少年課	<ul style="list-style-type: none"> ・トップでなくてもかまわないところについては、できるだけ女性に出てもらおうよう、引き続き働きかけてまいりたい。
3 閉会	<p style="text-align: right;">以 上</p> <p style="text-align: right;">＜速報のため事後修正の可能性有り＞</p>